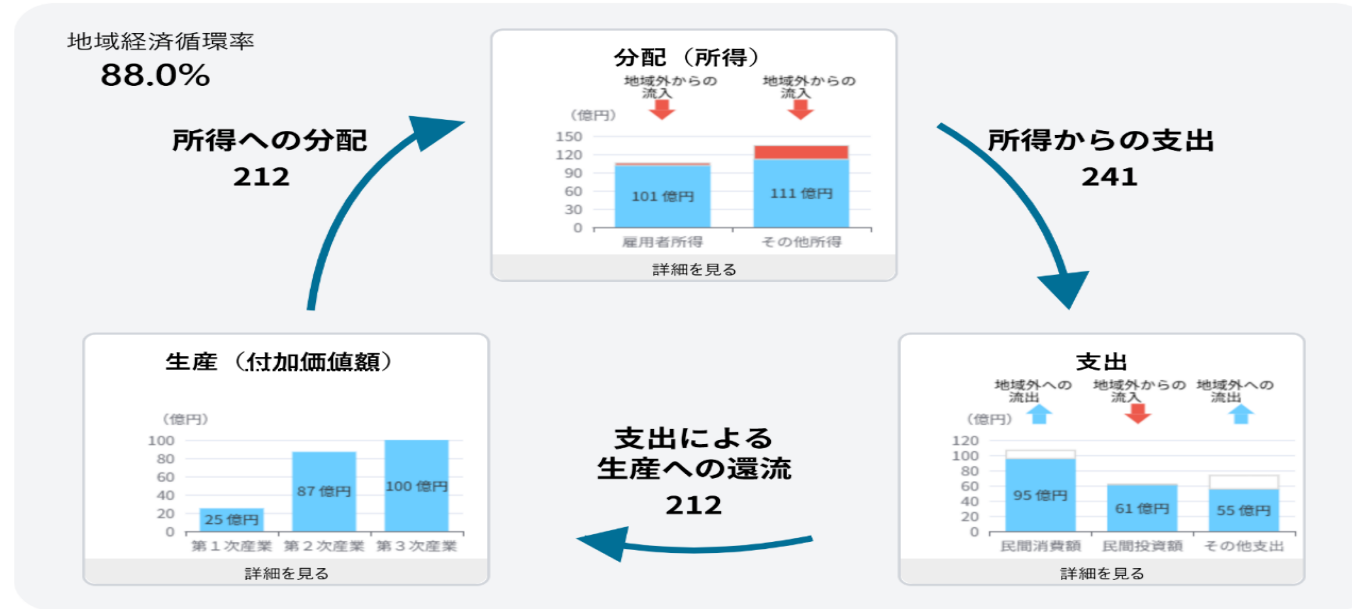


## 地域経済循環分析

2022年  
指定地域:岩手県住田町



### 【出典】

環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

[地域経済循環分析（環境省）](#)

### 【注記】

本データの詳細な分析方法については、以下URLを参照。

<https://www.vmi.co.jp/reca/>

「地域経済循環率」とは、生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値であり、地域経済の自立度を示している。（値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。）

「雇用者所得」とは、主に労働者が労働の対価として得る賃金や給料等により構成される。

「その他所得」は、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の所得により構成される。

「その他支出」は、「政府支出」+「地域内産業の移輸出-移輸入」により構成される。例えば、移輸入が移輸出を大きく上回り、その差が政府支出額を上回る場合（域外からの財・サービスの購入を通じた所得流出額が政府支出額よりも大きい場合）は、「その他支出」の金額がマイナスとなる。

「支出流出率」とは、地域内に支出された金額に対する地域外から流入・地域外に流出した金額の割合で、プラスの値は地域外からの流入、マイナスの値は地域外への流出を示す。

本データは国民経済計算、県民経済計算、国勢調査、経済センサス等のデータを用いて、全国の市町村のデータを統一的な方法で作成している。

国民経済計算や県民経済計算は、精度向上を目的に推計方法については絶えず見直しを行っている関係上、随時、過去に遡って改定がなされるため、本データのデータ更新時には、これまで公開していた数値から変化する可能性がある。

## 付加価値額（一人当たり）

2022年  
指定地域:岩手県住田町

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 (一人当たり)	533万円	1,226万円	1,073万円
付加価値額 (一人当たり) 順位	144位	405位	110位

## 所得（一人当たり）

2022年  
指定地域:岩手県住田町

	雇用者所得	その他所得
所得 (一人当たり)	225万円	285万円
所得 (一人当たり) 順位	840位	459位

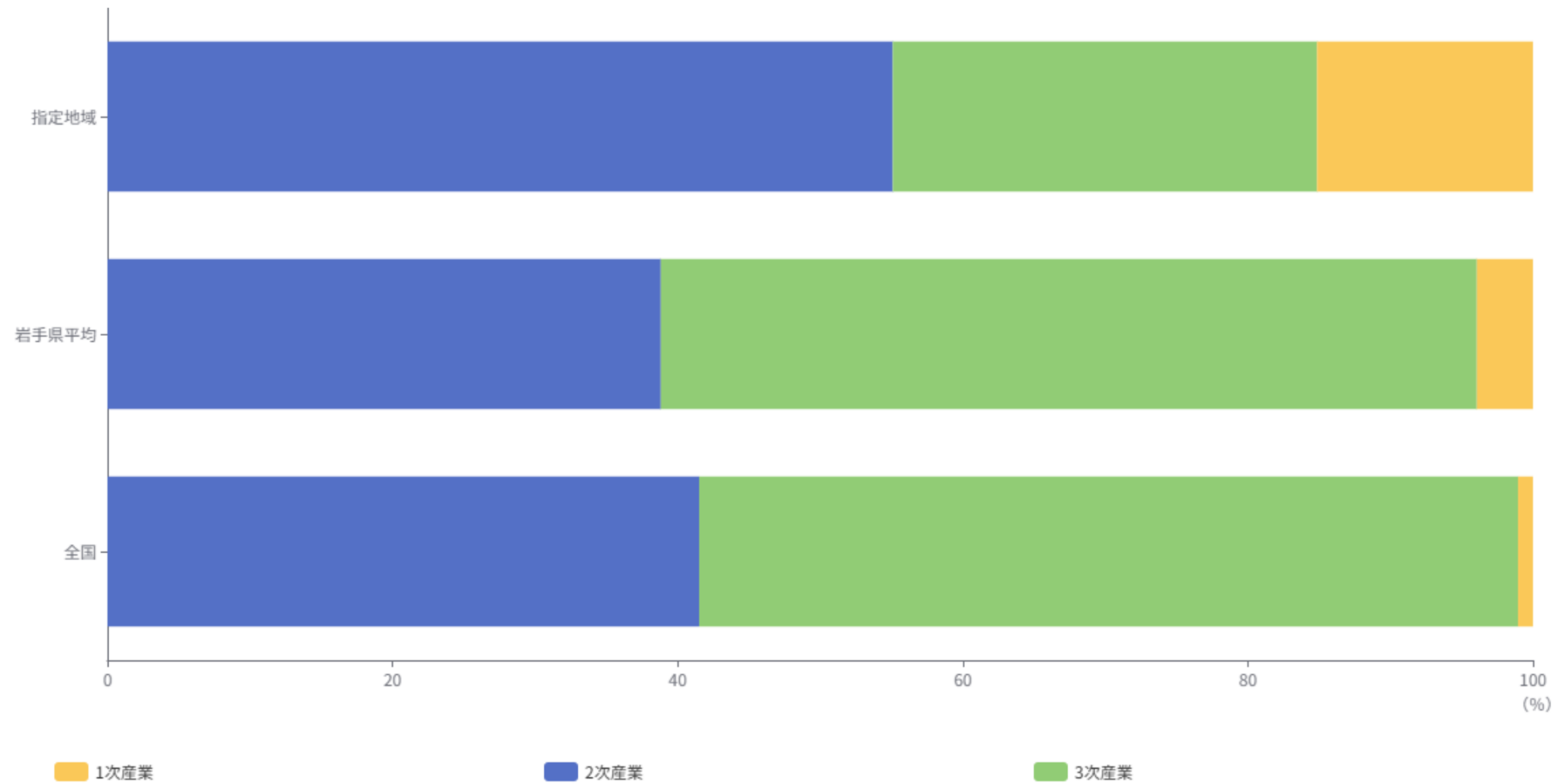
## 支出流出率

2022年  
指定地域:岩手県住田町

	民間消費	民間投資	その他支出
支出流出率	-10.8%	2.1%	-25.5%
支出流出率 順位	1,156位	398位	433位

# 地域内産業の構成割合（生産額（総額））

岩手県住田町  
2022年



## 【出典】

環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

[地域経済循環分析（環境省）](#)

## 【注記】

本データの詳細な分析方法については、以下URLを参照。

<https://www.vmi.co.jp/jpn/reca/>

一人当たり生産額 = 当該産業生産額 ÷ 当該産業従業者数

一人当たり付加価値額 = 当該産業付加価値額 ÷ 当該産業従業者数

一人当たり雇用者所得 = 当該産業雇用者所得 ÷ 当該産業従業者数

本データは国民経済計算、県民経済計算、国勢調査、経済センサス等のデータを用いて、全国の市町村のデータを統一的方法で作成している。

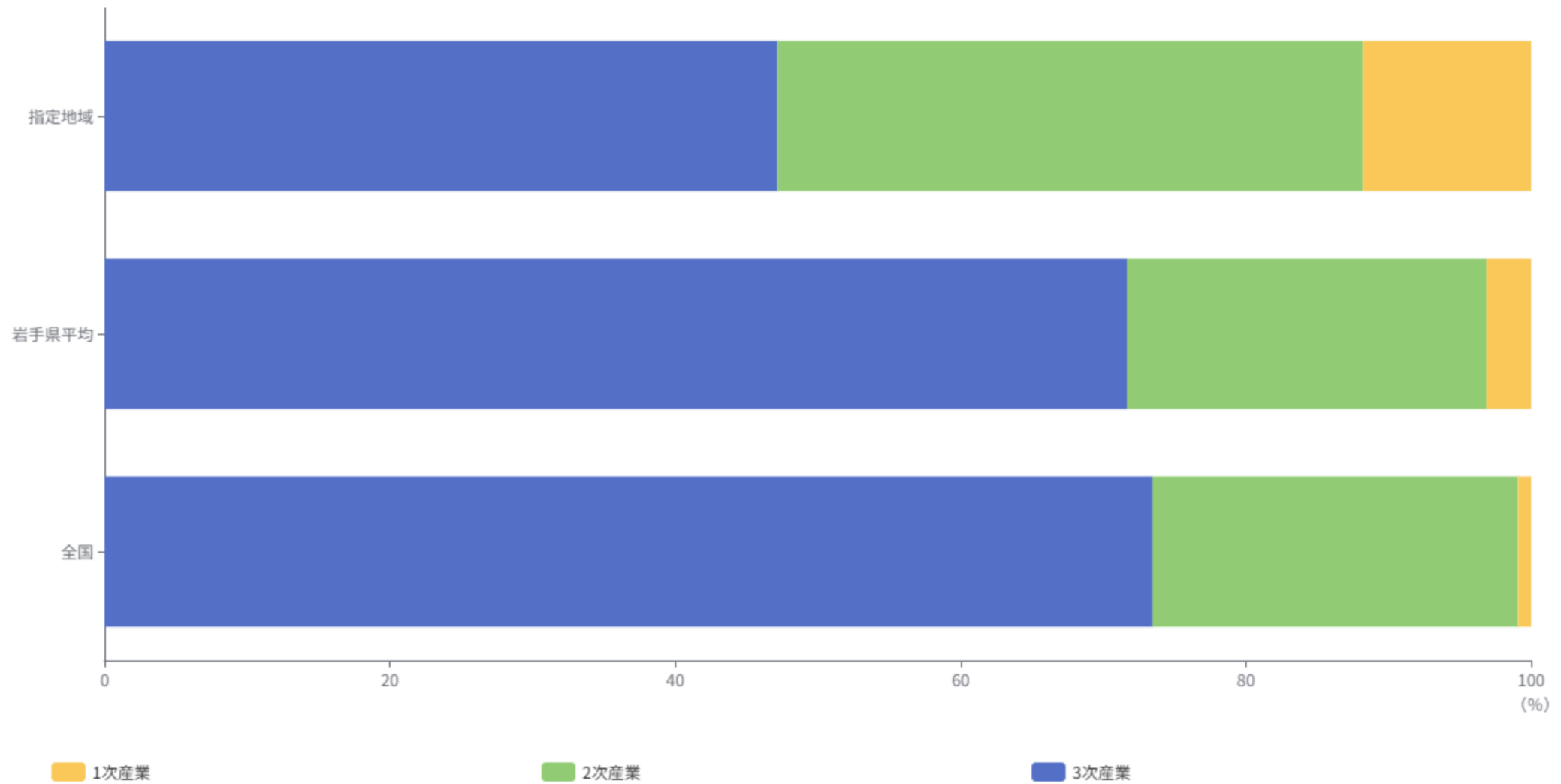
国民経済計算や県民経済計算は、精度向上を目的に推計方法については絶えず見直しを行っている関係上、随時、過去に遡って改定がなされるため、本データのデータ更新時には、これまで公開していた数値から変化する場合があります。

「公務」の生産活動の産出額は、売上等のデータからは推計できないことから、発注額（＝サービス提供にかかる費用）など経済活動に要した費用の積み上げが産出額となっている。

「住宅賃貸業」には帰属家賃が含まれている。

# 地域内産業の構成割合（付加価値額（総額））

岩手県住田町  
2022年



## 【出典】

環境省「地域産業関連表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

[地域経済循環分析（環境省）](#)

## 【注記】

本データの詳細な分析方法については、以下URLを参照。

<https://www.vmi.co.jp/jpn/reca/>

一人当たり生産額 = 当該産業生産額 ÷ 当該産業従業者数

一人当たり付加価値額 = 当該産業付加価値額 ÷ 当該産業従業者数

一人当たり雇用者所得 = 当該産業雇用者所得 ÷ 当該産業従業者数

本データは国民経済計算、県民経済計算、国勢調査、経済センサス等のデータを用いて、全国の市町村のデータを統一的な方法で作成している。

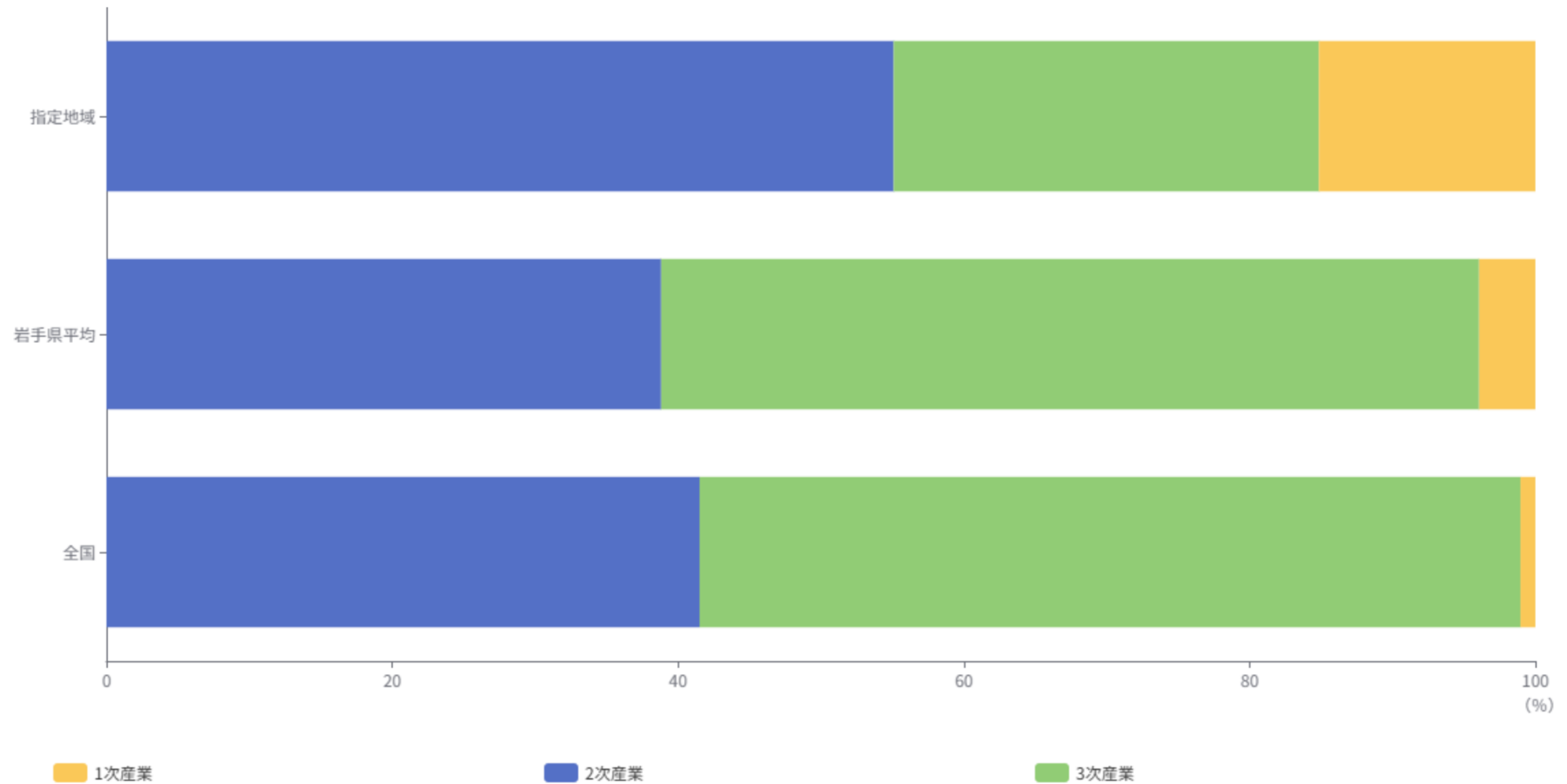
国民経済計算や県民経済計算は、精度向上を目的に推計方法については絶えず見直しを行っている関係上、随時、過去に遡って改定がなされるため、本データのデータ更新時には、これまで公開していた数値から変化する場合がある。

「公務」の生産活動の産出額は、売上等のデータからは推計できないことから、発注額（＝サービス提供にかかる費用）など経済活動に要した費用の積み上げが産出額となっている。

「住宅賃貸業」には帰属家賃が含まれている。

# 地域内産業の構成割合（生産額（総額））

岩手県住田町  
2022年



## 【出典】

環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

[地域経済循環分析（環境省）](#)

## 【注記】

本データの詳細な分析方法については、以下URLを参照。

<https://www.vmi.co.jp/jpn/reca/>

一人当たり生産額 = 当該産業生産額 ÷ 当該産業従業者数

一人当たり付加価値額 = 当該産業付加価値額 ÷ 当該産業従業者数

一人当たり雇用者所得 = 当該産業雇用者所得 ÷ 当該産業従業者数

本データは国民経済計算、県民経済計算、国勢調査、経済センサス等のデータを用いて、全国の市町村のデータを統一的な方法で作成している。

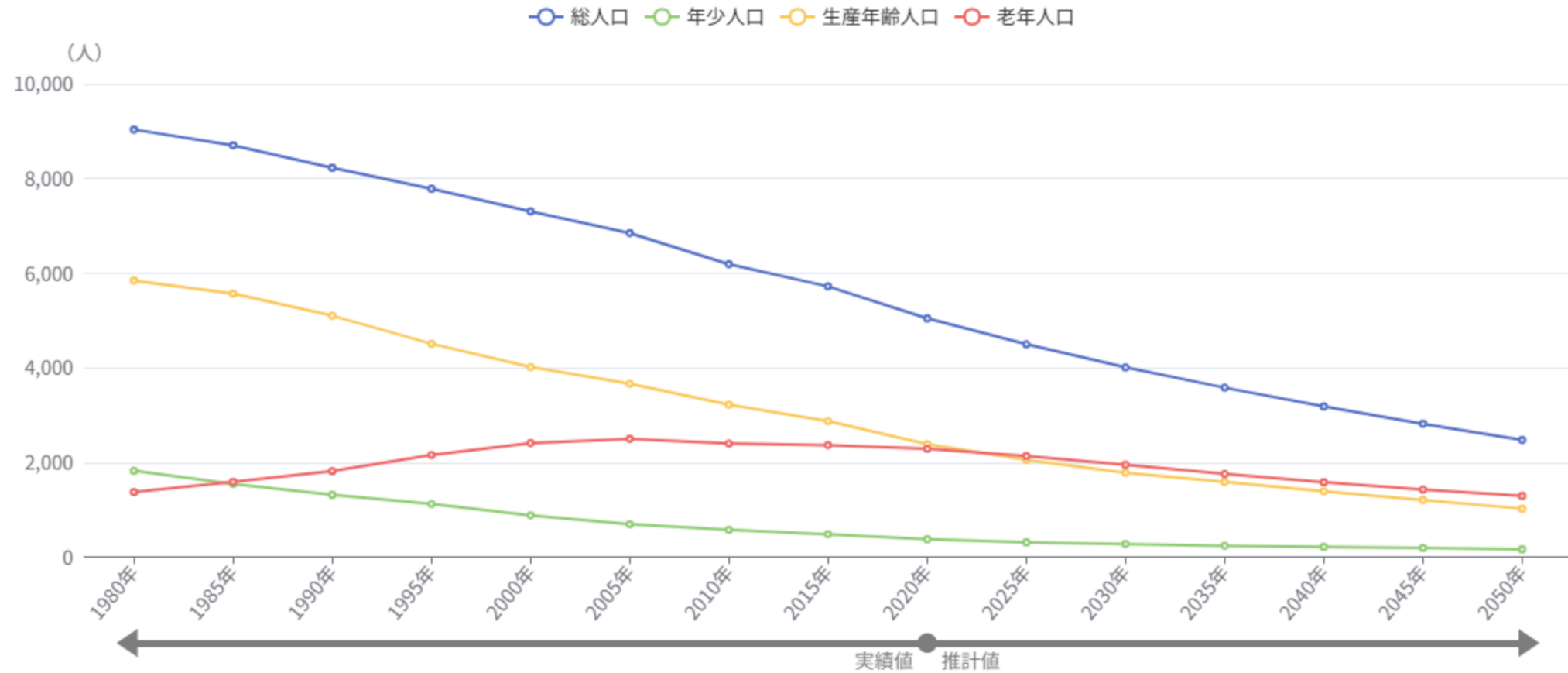
国民経済計算や県民経済計算は、精度向上を目的に推計方法については絶えず見直しを行っている関係上、随時、過去に遡って改定がなされるため、本データのデータ更新時には、これまで公開していた数値から変化する場合があります。

「公務」の生産活動の産出額は、売上等のデータからは推計できないことから、発注額（＝サービス提供にかかる費用）など経済活動に要した費用の積み上げが産出額となっている。

「住宅賃貸業」には帰属家賃が含まれている。

# 人口推移グラフ

岩手県住田町



## 【出典】

総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

## 【注記】

2020年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（令和5年12月公表）に基づく推計値。

2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

2025年以降のデータでは、福島県「浜通り地域」に属する13市町村（いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村）をまとめて推計しているため表示されない。

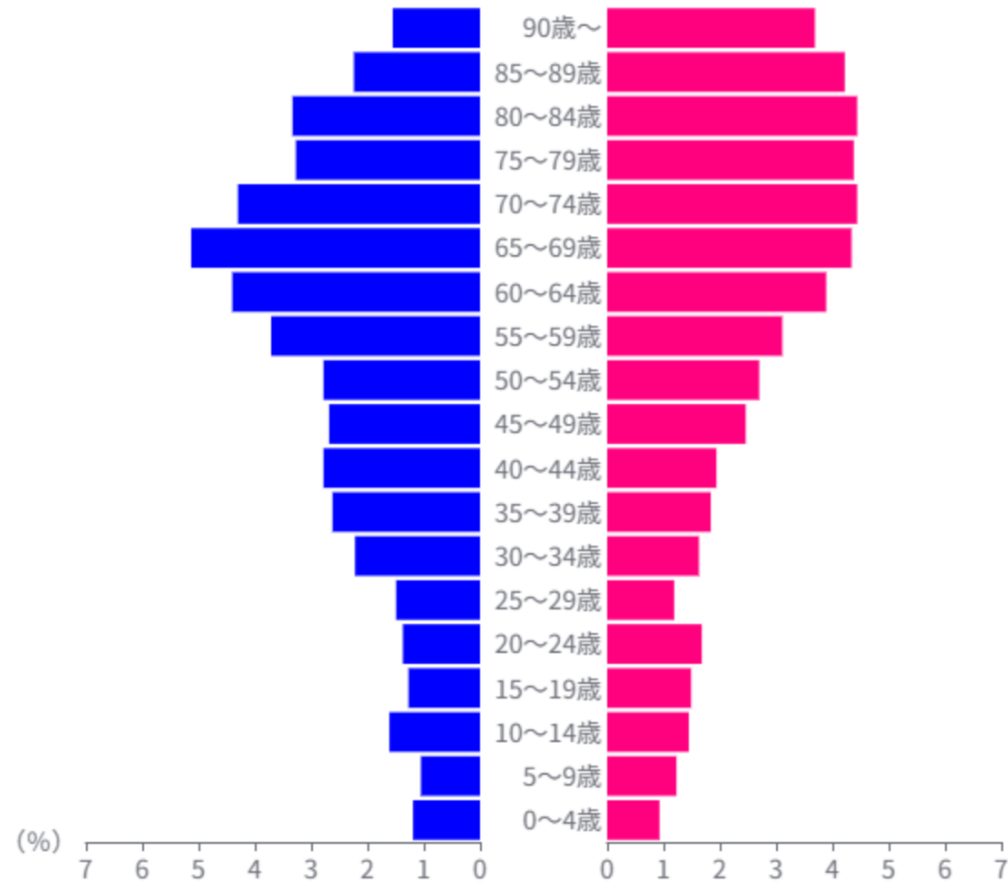
総数には年齢不詳を含む。

# 人口ピラミッド

岩手県住田町

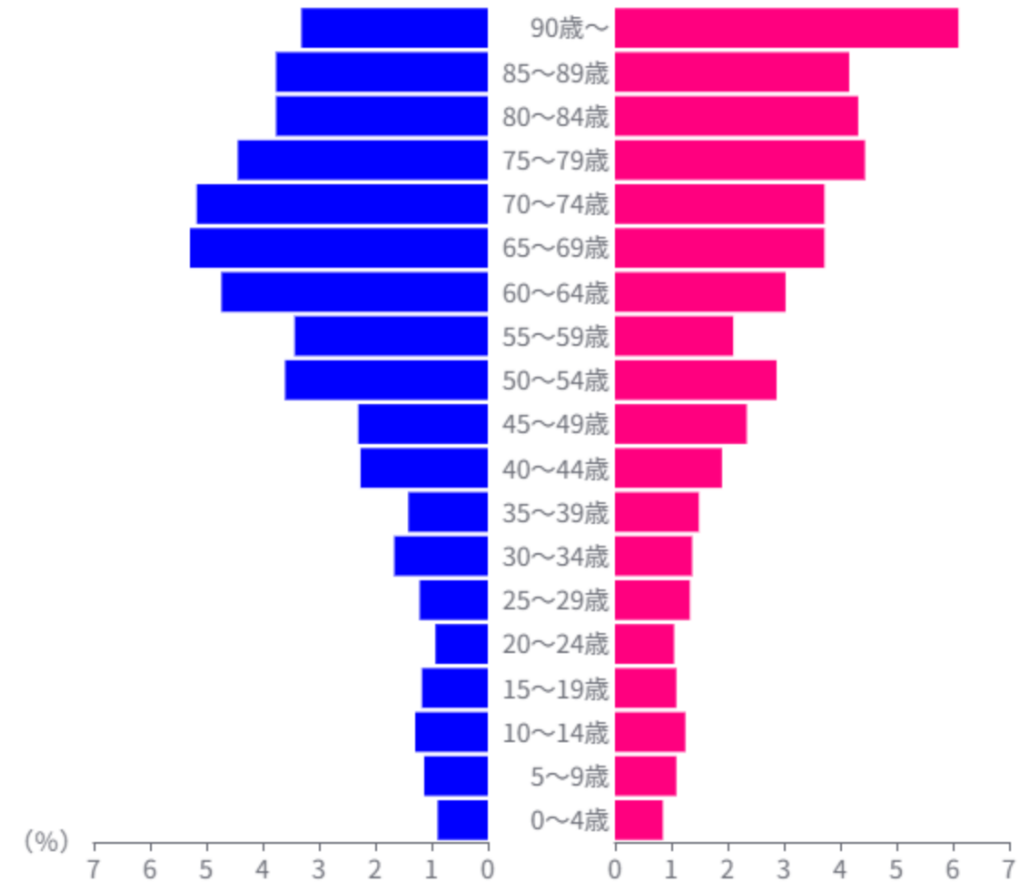
2020年

■ 男性 ■ 女性



2050年

■ 男性 ■ 女性



老年人口（65歳以上）：2,287人（45.33%）  
 生産年齢人口（15歳～64歳）：2,382人（47.22%）  
 年少人口（0歳～14歳）：376人（7.45%）

老年人口（65歳以上）：1,292人（52.2%）  
 生産年齢人口（15歳～64歳）：1,022人（41.29%）  
 年少人口（0歳～14歳）：161人（6.51%）

【出典】

総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】

2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（令和5年12月公表）に基づく推計値。

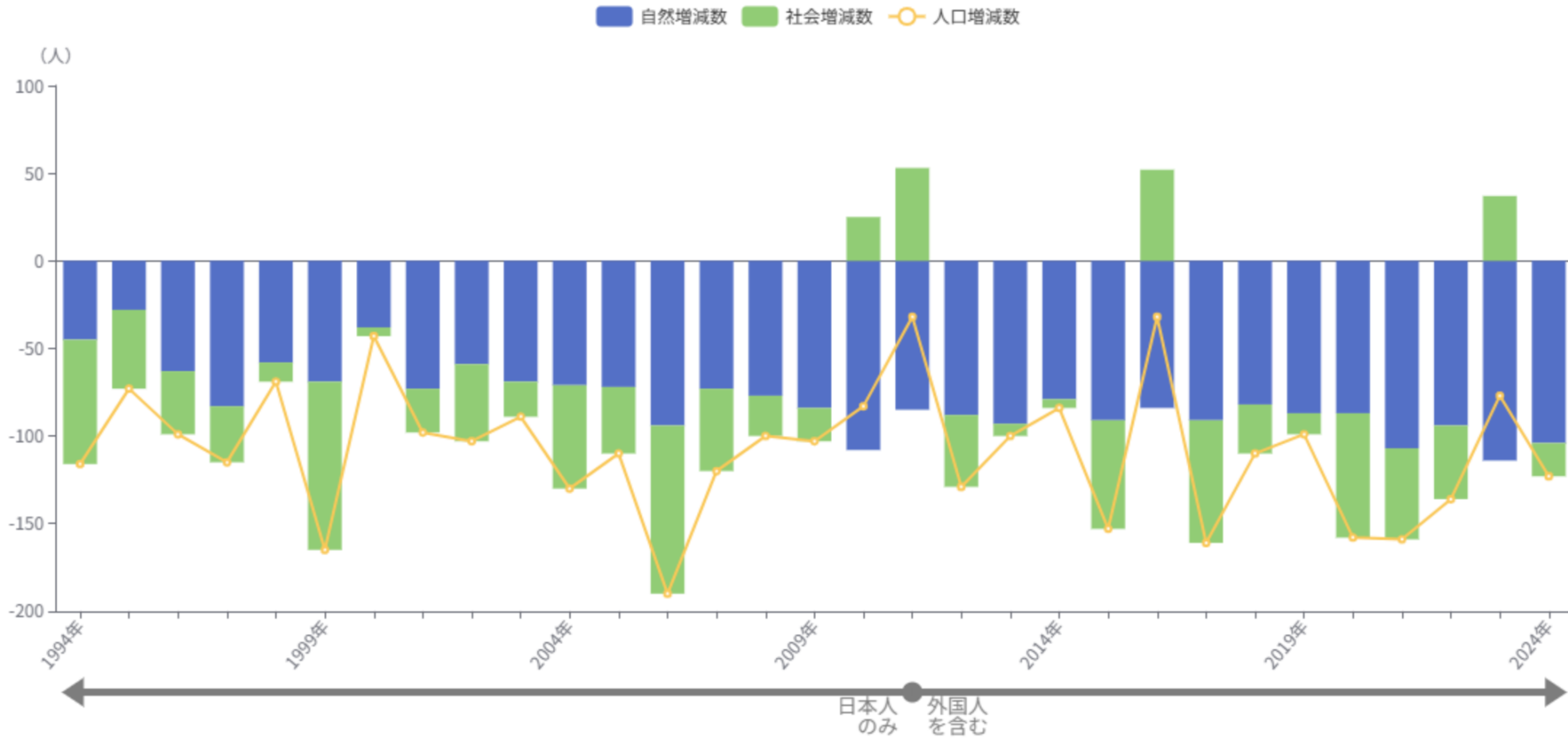
2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

2025年以降のデータでは、福島県「浜通り地域」に属する13市町村（いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村）をまとめて推計しているため表示されない。

総数には年齢不詳を含む。

# 自然増減・社会増減の推移(折れ線)

岩手県住田町



**【出典】**

総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工

**【注記】**

2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。

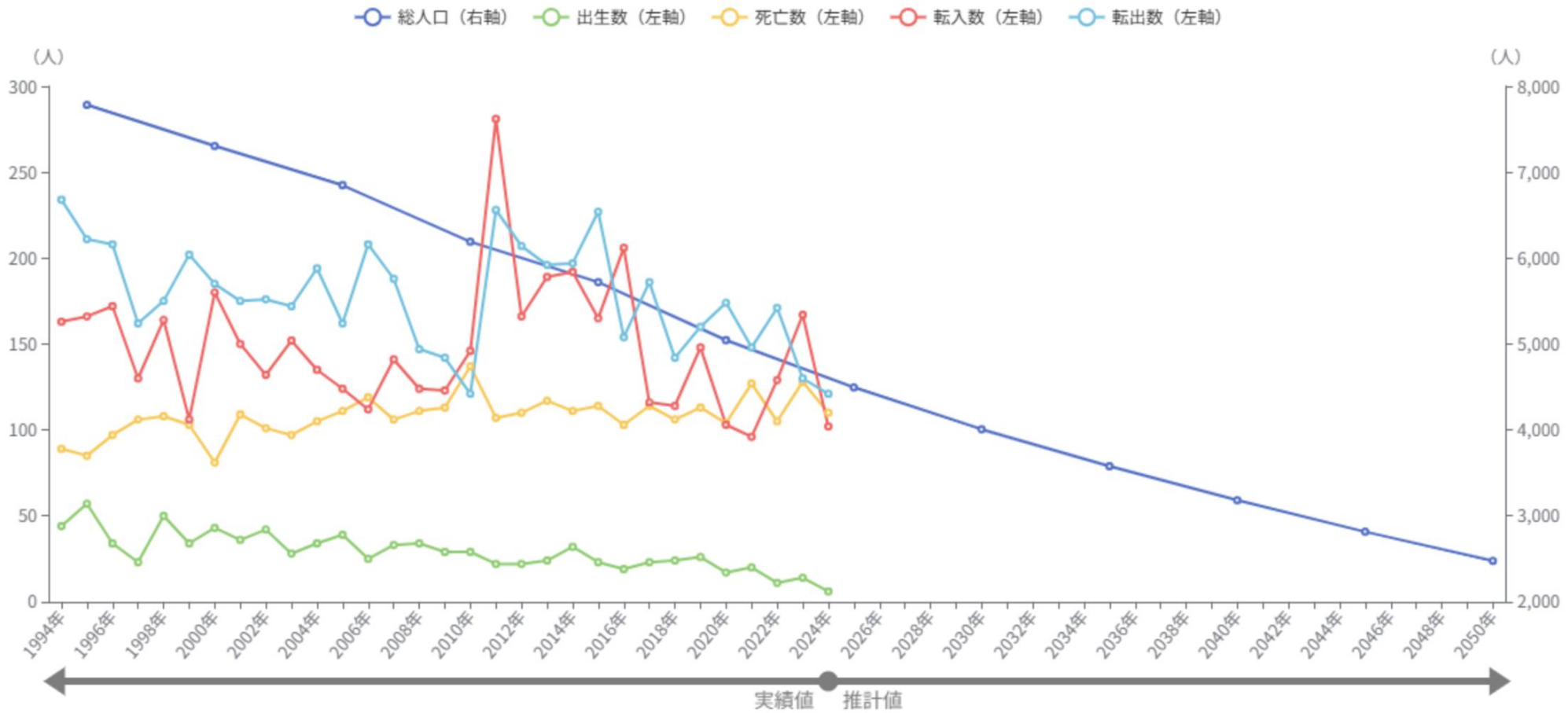
2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

2013年までは日本人のみ、2014年以降は外国人を含む数字。

2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

# 出生数・死亡数 / 転入数・転出数

岩手県住田町



**【出典】**

総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

**【注記】**

2020年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（令和5年12月公表）に基づく推計値。

人口増減率 = (A - B) ÷ B

A：表示年を指定するで指定した年の人口

B：Aの5年前の人口

2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。出生数・死亡数・転入数・転出数は2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。

本グラフについては他地域を合算することはできない。

2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

2025年以降のデータでは、福島県「浜通り地域」に属する13市町村（いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村）をまとめて推計しているため表示されない。

本グラフについては他地域を合算することはできない。

2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

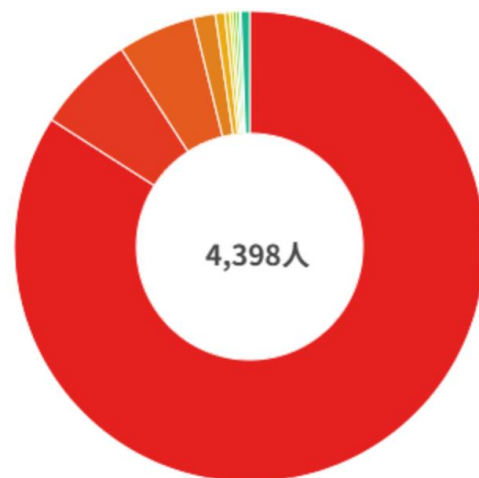
2025年以降のデータでは、福島県「浜通り地域」に属する13市町村（いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村）をまとめて推計しているため表示されない。

## 昼間人口・夜間人口の地域別構成割合

2020年 岩手県 住田町  
 昼間人口：4,398人  
 夜間人口：4,669人  
 (昼夜間人口比率：94.20%)

### 昼間人口

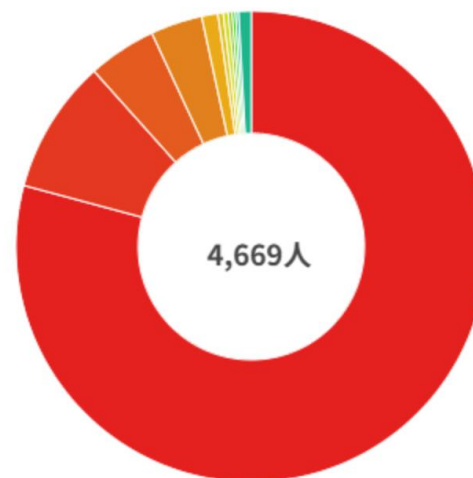
(指定地域内に日中滞在する人の居住地)



- 1位 岩手県住田町 3,697人 (84.06%)
- 2位 岩手県陸前高田市 298人 (6.78%)
- 3位 岩手県大船渡市 234人 (5.32%)
- 4位 岩手県遠野市 66人 (1.50%)
- 5位 岩手県奥州市 29人 (0.66%)
- 6位 岩手県北上市 14人 (0.32%)
- 7位 岩手県花巻市 10人 (0.23%)
- 8位 岩手県釜石市 10人 (0.23%)
- 9位 岩手県盛岡市 9人 (0.20%)
- 10位 宮城県気仙沼市 5人 (0.11%)
- その他 26人 (0.59%)

### 夜間人口

(指定地域内に居住する人の日中の滞在地)



- 1位 岩手県住田町 3,697人 (79.18%)
- 2位 岩手県大船渡市 429人 (9.19%)
- 3位 岩手県陸前高田市 219人 (4.69%)
- 4位 岩手県遠野市 166人 (3.56%)
- 5位 岩手県釜石市 52人 (1.11%)
- 6位 宮城県気仙沼市 17人 (0.36%)
- 7位 岩手県奥州市 16人 (0.34%)
- 8位 岩手県盛岡市 12人 (0.26%)
- 9位 岩手県北上市 11人 (0.24%)
- 10位 岩手県一関市 10人 (0.21%)
- その他 40人 (0.86%)

#### 【出典】

総務省「国勢調査」

#### 【注記】

昼間人口：この画面においては、就業者または通学者が従業・通学している従業地・通学地における15歳以上の人口であり、従業地・通学地集計の結果を用いて算出された人口をいう。

算出方法は「地域に常住する人口」-「地域から通勤者又は通学者として流出する人口」+「その地域へ通勤者又は通学者として流入する人口」

テレワーク勤務に関しては、定義上ふだんからテレワーク勤務が半分未満の場合は勤め先の所在地が従業地となるため、「流出入口」「流入人口」に含まれるが、テレワーク勤務が半分以上の場合は、自宅を従業地とするため、「流出入口」「流入人口」に含まれない。

夜間勤務の者、夜間の学校に通っている者も便宜上昼間就業者・昼間通学者とみなして昼間人口に含めているが、買物客などの非定期的な移動については考慮していない。

夜間人口：この画面においては、地域に常住している15歳以上の人口である。

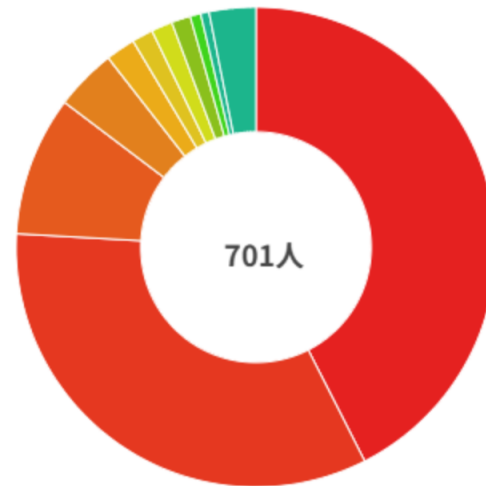
昼夜間人口比率：この画面においては、夜間人口100人当たり（15歳以上）の昼間人口（15歳以上）の割合であり、100を超えているときは通勤・通学人口の流入超過、100を下回っているときは流出超過を示している。

「平成22年国勢調査」による数値に関して、平成22年10月1日以降に合併した岩手県一関市（一関市、藤沢町）、栃木県栃木市（栃木市、西方町、岩舟町）、埼玉県川口市（川口市、鳩ヶ谷市）、愛知県西尾市（西尾市、一色町、吉良町、及び幡豆町）、島根県松江市（松江市、東出雲町）、島根県出雲市（出雲市、斐川町）の6自治体については、市町村合併を考慮した調整を実施している。

## 流入者数・流出者数の地域別構成割合

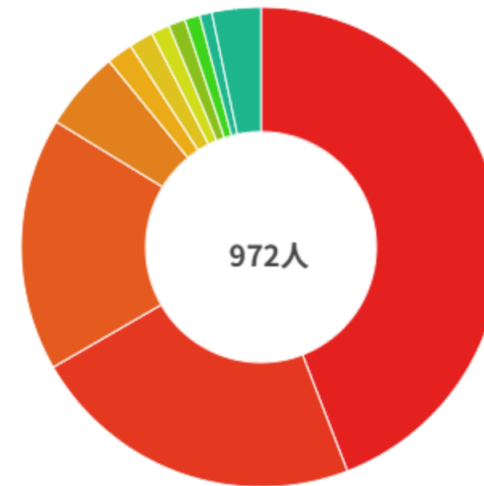
2020年 岩手県 住田町  
通勤者・通学者で見る  
流入者数：701人  
流出者数：972人  
(流出超過数：271人)

### 域内への流入者数



- 1位 岩手県陸前高田市 298人 (42.51%)
- 2位 岩手県大船渡市 234人 (33.38%)
- 3位 岩手県遠野市 66人 (9.42%)
- 4位 岩手県奥州市 29人 (4.14%)
- 5位 岩手県北上市 14人 (2.00%)
- 6位 岩手県花巻市 10人 (1.43%)
- 7位 岩手県釜石市 10人 (1.43%)
- 8位 岩手県盛岡市 9人 (1.28%)
- 9位 宮城県気仙沼市 5人 (0.71%)
- 10位 岩手県一関市 4人 (0.57%)
- その他 22人 (3.14%)

### 域外への流出者数



- 1位 岩手県大船渡市 429人 (44.14%)
- 2位 岩手県陸前高田市 219人 (22.53%)
- 3位 岩手県遠野市 166人 (17.08%)
- 4位 岩手県釜石市 52人 (5.35%)
- 5位 宮城県気仙沼市 17人 (1.75%)
- 6位 岩手県奥州市 16人 (1.65%)
- 7位 岩手県盛岡市 12人 (1.23%)
- 8位 岩手県北上市 11人 (1.13%)
- 9位 岩手県一関市 10人 (1.03%)
- 10位 宮城県仙台市 8人 (0.82%)
- その他 32人 (3.29%)

#### 【出典】

総務省「国勢調査」

#### 【注記】

通勤者：この画面においては、15歳以上の自宅以外の場所で就業する者をいう。

ただし、ふだんからテレワーク勤務が半分未満の場合は、勤め先の所在地が従業地となるため、通勤者に含まれるが、テレワーク勤務が半分以上の場合は、自宅を従業地とするため、通勤者には含まれない。

通学者：この画面においては、15歳以上の、主に高等学校や専修学校、各種学校に通学する者をいう。

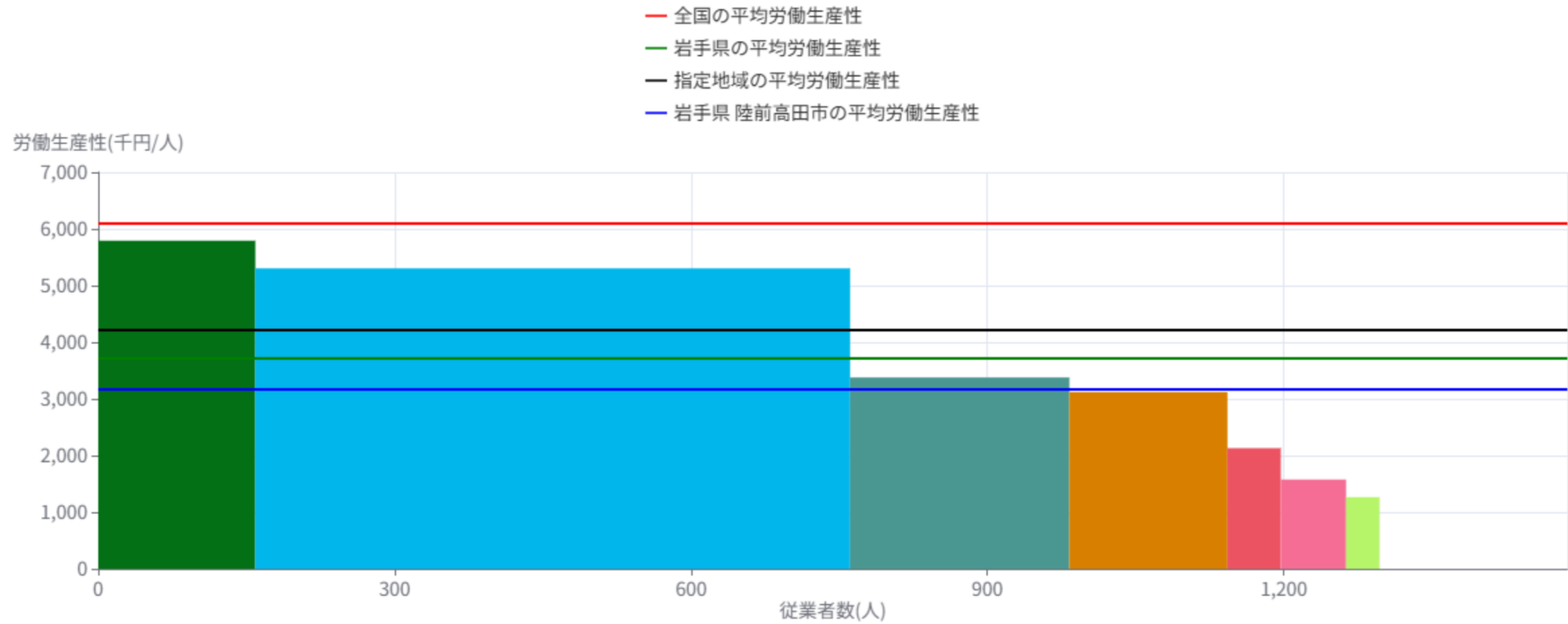
通勤者・通学者：この画面においては、15歳以上の通勤者と15歳以上の通学者の合計をいう。

この画面において、流入者数、流出者数、流入超過数、流出超過数には、同じ政令指定都市下の行政区間の流入者数・流出者数は含まれていない。

「平成22年国勢調査」による数値に関して、平成22年10月1日以降に合併した岩手県一関市（一関市、藤沢町）、栃木県栃木市（栃木市、西方町、岩舟町）、埼玉県川口市（川口市、鳩ヶ谷市）、愛知県西尾市（西尾市、一色町、吉良町、及び幡豆町）、島根県松江市（松江市、東出雲町）、島根県出雲市（出雲市、斐川町）の6自治体については、市町村合併を考慮した調整を実施している。

# 従業者と労働生産性から見る付加価値額

岩手県住田町  
2021年



産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
● 農林漁業	5,792	159	921
● 製造業	5,304	602	3,193
● 建設業	3,378	222	750
● 卸売業, 小売業	3,119	160	499

産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
● 宿泊業, 飲食サービス業	2,130	54	115
● サービス業 (他に分類されないもの)	1,576	66	104
● 生活関連サービス業, 娯楽業	1,265	34	43

「その他」に含まれる産業、データを秘匿・欠測している産業

産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
医療, 福祉	-	158	X
運輸業, 郵便業	-	32	X

【出典】

総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

【注記】+